

| 羅 針 盤 | | | 達 成 度 | | | 改 善 状 況 の ま と め | 学 校 関 係 者 評 価 | 次 年 度 の 課 題 |
|--|---|--|-------|---|---|---|--|--|
| 評 価 対 象 | 評 価 項 目 | 具体的数値項目 | ① | ② | 総合 | | | |
| I 特色ある学校 づくりに努めていますか。 | 1 国際交流を推進し、国際理解を深めるとともに、コミュニケーション能力、英語能力を伸ばさせる。さらに、英語の民間試験の積極的な受験を奨励する。 | ・高女グローバル研修in USAの参加者40名を確保し、参加した生徒の中で「行って良かった」と考える生徒の割合が90%以上である。 | B | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 過去3回の反省点を生かし、研修内容や事前研修をさらに工夫した。研修への満足度も非常に高かった。今後も今までの反省、引き継ぎ事項を参考に、旅行社と綿密な連絡を取りながら研修をさらに充実させたい。 学年や講師によって、満足度は異なる。内容、講師、実施時期、回数等工夫可。検討中である。 高女での申込が定着し、英検を受検する生徒は多く、非常に意欲的に取り組んだ。英検準2級以上またはGTEC等の外部検定のランクA2以上の3年生は99.4%と良い結果だった。外部検定試験については生徒・保護者とも関心は高い。情報収集をし、議論していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 渡航前の説明、オリエンテーションが充実していて良い。引率教員がいるのが安心。英検を受ける流れがあるのが良い。 英検は準2級ではなく、2級取得を目指すべき。リスニングやスピーキング対策ができたらなお良いと思う。 研修内容、事前研究の工夫が研修への満足度を上げ成果となった。講師選定は難しさはあるが生徒の実態を踏まえ、講師選定を行い、満足度を高めてほしい。英検の成果は素晴らしい。 研修の内容の改善・充実がうかがわれる。英検は目標を上回る成果である。 | <ul style="list-style-type: none"> USA研修は来年度5年目を迎える。回数を重ね、説明会・事前研修・現地での研修の内容や、運営のシステムも整った。しかし、海外では予期せぬことも起こり、引率者は臨機応変な対応等も必要になる。今後も旅行社と綿密な連絡を取り、現地の情報収集や研修のさらなる充実に努めたい。また、参加した生徒の経験を他の高女生徒に還元、共有できるような場をもっと作れればと思う。今後も関係者の共通理解のもと、企画・システムをよい形で維持・向上させ、生徒の自主性や積極性の伸長を図りつつ、丁寧な指導に努め、高女でしかできない研修として、内容をさらに充実させたい。 講演会の内容や講師等、充実を図る。 英語検定の数値目標を見直す。実用英検2級相当が妥当だが、全員受験ではないので、「相当」の範囲を英語科で議論する。 |
| | | ・上記以外のグローバル人材育成のための講演会等に満足している生徒が80%以上である。 | B | B | B | | | |
| | | ・3年の時点で、英検準2級相当以上の生徒の割合が90%以上である。 | B | A | A | | | |
| | 2 探究活動を通して、主体的に課題解決に当たれる資質と能力を育て、さらに物事の本質をとらえる視点を養い、国際社会で活躍できる力を身に付けさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究・学習の時間（課題研究など）に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が80%以上である。 科学探究の取組（サイエンスレクチャー等）に参加する生徒の90%以上が満足している。 | A | A | A | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に研究を進められるような学校としての指導体制がある程度整い、昨年度より生徒の自己評価もさらに高くなった。今後も、探究活動推進委員会、関連機関と連携し、教員間の共通理解のもと、さらに改善していきたい。 充実したプログラムが実施できた。今後も、グローバル探究、科学探究とも希望者研修のプログラムを厳選し充実させ、生徒に効果的に周知したい。 | <ul style="list-style-type: none"> 昨年より満足度が高くなったのは良い。外部研修の機会があるのも良い。 素晴らしい成果だと思います。 順調に達成されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 年度末の探究活動推進委員会で決定した改善点をもとに、を関連機関と連携し、教員間の共通理解のもと、高女の総合的な探究において外部の機関の訪問、フィールド調査等を推進する。 プログラムの厳選（内容・回数・時期等）は今後も課題である。今後も、希望者研修のプログラムを充実させ、効果的に周知したい。 |
| ・図書の新着冊数が、年5500冊以上である。 | | | A | A | A | | | |
| 3 新教育課程を円滑に推進し、併せて「新大学入試制度」への対応の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に対応した教育課程を完成させる。 | B | B | B | <ul style="list-style-type: none"> 試案を複数作成することができたが、会議の開催を重ねることができなかった。次年度に向け会議の開催を行いたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 入試形式が変わる教科は、早めに対策を。 順調に実施されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 不確定な情報の中、受験生はとても不安だと思う。入試の情報提供とともに、受験生へのメンタル面での支援策を講じる。 適切に入試情報を取り入れながら十分な議論を重ね、生徒の力を引き出せるような教育課程作成に努める。 | |

| 羅 針 盤 | | | 達 成 度 | | | 改 善 状 況 の ま と め | 学 校 関 係 者 評 価 | 次 年 度 の 課 題 |
|--------------------------------|---|--|--------|--------|--------|---|---|--|
| 評 価 対 象 | 評 価 項 目 | 具体的数値項目 | ① | ② | 総合 | | | |
| Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。 | 4 自己の明確な目標を持ち主体的に学習する姿勢と継続的な学習習慣の確立を図る。 | ・学習に対する生徒の達成感、満足感を持っている生徒が80%以上である。 | B | B | B | ・達成感、満足感を持って学習に取り組んでいる生徒は増加している。アクティブラーニングや豆テスト、課題等の活用により主体的に学習に取り組めるよう授業改善を図る。 | ・アクティブラーニングは、各生徒の進捗を確認調整ながら取り組んでほしい。 ・改善が認められる。 | ・研修の機会等を充実させ授業改善に向けて講義、アクティブラーニング、豆テスト、課題等が有効なものとなるよう改善を図る。 |
| | 5 55分授業の導入において、課題に対して「自らの考えを記述し、発表する」授業体制を心がけ、併せて基礎学力の定着及び発展的な学習に取り組むことのできるよう授業を工夫する。 | ・55分授業の円滑な運営を行う。 ・生徒の現状を踏まえた上で授業改善に係る研修を年2回以上行う。 | B A | A A | A A | ・55分授業の運用は円滑に行われている。 ・年2回の研修は既に実施している。今年度中にあと1回の研修を予定しておりが授業が更に効果的なものとなるようその改善をしていく。 | ・55分授業の良いところをうまく活用でき、良い授業ができていると感じる。 ・週により授業(時間割)が異なるので、忘れ物をする生徒が多いと思う。 ・成果があがっていてすばらしいと思います。 ・順調に達成されている。 | ・55分授業が有効なものとなるよう、職員研修等を利用して改善に務める。 |
| | 6 習熟度別授業や個別指導を通して、生徒個々の弱点の強化と学力の一層の向上を図る。 | ・習熟度別授業が有効である、先生は丁寧な指導をしてけると感じる生徒の割合が80%以上である。 | A | A | A | ・習熟度別学習が更に効果的なものとなるよう研究、研修を推進する。 | ・習熟制度は生徒にも先生にも有効だと思ふ。習熟度別ということは最下層が存在すること。その生徒へのメンタル面を含めた指導をお願いしたい。 ・習熟度授業は機能していると思う。 ・すばらしい成果だと思います。 ・順調に達成されている。 | ・習熟度別学習が生徒の学習へのモチベーションを上げるものとなるよう授業研究に努める。 |
| | 7 学習意欲の高い生徒の更なる学力の伸長と課題を抱える生徒への学習援助をより具体化する。特に、本年度は早期に学習課題を抱える生徒への課外の義務化と高い目標を持つ生徒への個別指導の充実を図る。 | ・生徒各自がその現状を踏まえ、明確な目標を持ち、高校生活を送っていると考える生徒が80%以上である。 ・将来の夢や希望の実現を支援する取り組みを学校が実施していると考えられる生徒が80%以上である。 | B A | B A | B A | ・年度前半のアンケートに比べて大きく評価を上げているが、それぞれの学年における1年を通じての指導が着実に実を結んでいることの証だと思われる。今後もこの状況を維持したい。 ・各学年ともに生徒・保護者とも年間を通じて具体的な数値項目を上回った。今後も学年や教科と協力しながら、生徒の学力に応じたきめ細かな指導を実施していきたい。 | ・“明確な目標”、上記の低下層の生徒への指導をお願いします。少しでも向上が見られたら褒めてあげることも大切。 ・学年が上がるにつれて明確な進路目標を持っている生徒の割合は高くなり、3年生では90%以上である。順調に達成されている。 ・良い。 ・素晴らしい成果だと思います。 ・順調に達成されている。 | ・生徒各自が様々な学習や体験を積み重ねながら、常に真摯な態度で自分の目標を見つけ出し、その実現に向い“夢中”になれるような、進路指導を目指す。 ・今後とも、幅広い学力層の生徒に対して、それぞれが持てる力を十分に伸ばし、自信と誇りを持って望む進路が実現達成できるような指導を心がけていく。 |
| Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 8 学校中心の生活を確立させ、個々の居場所づくりに努める。 | ・いじめについては、積極的に認知するようにし、解消率100%とする。 | A | A | A | ・年3回実施の「いじめ悩みアンケート」で積極的に認知するとともに日頃から、相談しやすい雰囲気作りに努める。相談があれば適切に対応することとし、生徒に安心感を持たせるようにする。 | ・12月実施の1件の問題は解決したのでしょうか。不確定ですがさらなる信頼関係の確立を。 ・ネットいじめやゲーム依存症はいかがでしょうか。 ・順調に達成されている。 | ・必要に応じ個別でのカウンセリングができているので、今後も継続していきたい。 ・学習や部活動といったあらゆる場面で生徒の変化に意識を持ち、教員から積極的に声がけをし、相談しやすい雰囲気を作る。 |
| | | ・部活動や授業活動において、80%以上の生徒が、充実していると回答できるよう学校環境を整える。 | A | A | A | ・職員は常に指導力向上に努め、専門教科や部活動の指導について研鑽を図る。 | ・よろしくをお願いします。 ・ネットいじめやゲーム依存症はいかがでしょうか。 ・順調に達成されている。 | ・学習時間調査や面談を活用し、生徒の学習や部活への取組を的確に把握し、個々の課題設定を支援する。 |

| 羅 針 盤 | | | 達成度 | | | 改善状況のまとめ | 学校関係者評価 | 次年度の課題 |
|---|---|---|-----|---|--|---|--|--|
| 評価対象 | 評価項目 | 具体的数値項目 | ① | ② | 総合 | | | |
| Ⅲ | 9 生徒の小さな変化に気を配り、学級・部活動等の関係者で情報を共有する。 | ・生徒との面談では必ず人間関係について確認するなどし、週1回の学年会議で必ず情報共有を行い組織的に早期対応につとめる。 | A | A | A | ・引き続き相談しやすい雰囲気づくりにつとめるとともに、生徒同士が互いに声をかけたり助け合ったりできるよう、職員も含めて好ましい人間関係構築を図る。 | ・先生方のさらなる情報共有・連携をお願いします。 ・ネットいじめやゲーム依存症はいかがでしょうか。 ・順調に実施されている。 | ・生徒同士で声をかけたり、気配りのできる集団の運営につとめ、相談しやすい雰囲気作りにつとめる。 |
| | | ・欠席が3回連続した生徒への「声掛け」を実施する。 | A | A | A | ・欠席をきっかけとして、生徒情報の共有、支援に繋げていく。欠席しそうな生徒に気づき、本人への声掛けと、情報共有を行う。 | ・あまり声掛け等がしつこくなると弊害があるかもしれません。その生徒に信頼できる友達がいれば、その友達に任せてみるのも有りだと考えます。先生方の情報共有を確実にお願いします。 ・ネットいじめやゲーム依存症はいかがでしょうか。 ・順調に実施されている。 | ・担任、学年団、養護教諭、スクールカウンセラー等と連携し、生徒に応じた適切な関わり方について情報共有を図っていく中で、友達からのアプローチを取り入れたケースもあった。スマホに関わるトラブルについては、まず未然防止に力を入れ、相談を受けた場合は、速やかに対応してきた。引き続き、チームで連携して適切に対応していきたい。 |
| | | ・欠席連絡票を活用し、3日連続で欠席した生徒に適切な対応を行い、関係者で情報を共有し組織的な対応を図る。 | A | A | A | ・欠席連絡票の活用により、連続して欠席する生徒の把握と対応が円滑にできているので、今後も継続し、早期の連携した対応に努める。 | ・続けてお願いします。 ・ネットいじめやゲーム依存症はいかがでしょうか。 ・順調に実施されている。 | ・今後も欠席連絡票を活用し、生徒の体と心と体の健康状態を早期に把握し、関係者間で協力して対応する体制を継続していく。 |
| | 10 課題を抱える生徒への対応は、生徒指導・教育相談・スクールカウンセラー・担任・学年等の連携したチームで情報を共有して対応し、外部機関とも連携する。 | ・学期毎に教育相談週間と、いじめ悩みアンケートを実施することで、不安や課題を抱える生徒へ対応し、相談部の定例会議で情報の共有を定期的に行い、必要に応じて外部機関とも連携する。 | A | A | A | ・学期ごとに、必要に応じて悩みアンケートや面談を実施し、生徒支援に繋げる。定例会議によって、より細かな支援体制を構築していく。 | ・外部情報機関を含め、連携しているのはとても良いこと。 ・ネットいじめやゲーム依存症はいかがでしょうか。 ・順調に実施されている。 | ・アンケートの回答を慎重に受け止め、担任や教育相談部で面談に当たってきた。相談日より等をとおしていつでも相談しやすい雰囲気を作り、生徒がアンケート以外でも気持ちを発信できるようにしてきた。外部機関とつながって好変化が見られたケースもあった。今後も生徒に応じた支援をしていきたい。 |
| | 11 生徒主体の学校行事を通して、自主性、寛容性を育み、リーダーシップとコミュニケーション能力の伸長を図り、協力・協働活動を通して生徒の孤立を防ぐ。 | ・クラス全体で意欲的に行事に取り組み、それぞれの立場で活動に貢献するなどして、満足している生徒が80%以上である。 | A | A | A | ・生徒個々の特性を生かして、適材適所で色々な生徒が強みを発揮できるよう計画的に役割分担をおこなうなど配慮する。 | ・満足していない20%の方の不満は何でしょうか。各行事にリーダーがいるはずですが。リーダーの補助も必要。また、リーダーが毎年同じ方にならないように。 ・ネットいじめやゲーム依存症はいかがでしょうか。 ・順調に達成されている。 | ・活動や行事ごとに生徒の特性を踏まえて、リーダーの任命するなど、より多くの生徒が自己の強みや特徴を生かせるよう計画的に支援する。 |
| | 12 目標に向かい他者と協力する体験を通して、思いやりがあり、高い志を持つ、バランスのとれた人材を育成する。 | ・各生徒組織内の人間関係が健全に保たれ、互いに協力したり支えあえていると感じている生徒が80%以上である。 | A | A | A | ・職員を含め個性を認め合い、互いに尊敬し合える関係構築につとめる。各活動ごとに目安や見通しを持たせ、生徒の活動の成果が実感できるように支援する。 | ・”職員を含め”はとても大事だと思う。 ・順調に達成されている。 | ・活動ごとにふり返しを行うなどし、成果を確認し合うことにより、学習活動や学校行事の目的が深まるようにする。 |
| | 13 生徒個人の、そして部全体の達成目標を生徒自らが設定し、工夫して部活動を運営する体験の機会を作る。 | ・部活動の内容や成果、教員の指導に満足している生徒が80%以上である。 | A | A | A | ・目標設定を明確にし、生徒の要望を理解しながら、より効率的な部活動運営を生徒中心に考える。 | ・どうしても勝利優先になるのは仕方がないが、そこに各個人の目標→成果を評価してあげて欲しい。 ・生徒主体の部活動運営が十分に機能していると考えている。 ・順調に達成されている。 | ・生徒や保護者、さらには関係する外部と連携を図り、情報を共有するなど、各部署で協力して活動ができていると実感できるようにする。 |
| 14 技術向上と学習時間確保のための工夫ある練習を計画し、個人と部の目標を達成させる。 | ・個々の目標を達成できていると実感する生徒が80%である。 | A | A | A | ・部活動の他にも各自が取り組みたい活動があることを全体で理解し、互いに尊重できるように指導する。 | ・様々な活動を行うことで、良い経験を積むと思う。各自の活動を支援してあげて欲しい。 ・順調に達成されている。 | ・お互いに活動や学習を高め合えるような人間関係構築につとめる。 ・チームの目標と同等に個人の目標を尊重できる活動を推進する。 | |

| 羅 針 盤 | | | 達 成 度 | | | 改 善 状 況 の ま と め | 学 校 関 係 者 評 価 | 次 年 度 の 課 題 |
|---------|---|--|---|--------|--------|--|--|---|
| 評 価 対 象 | 評 価 項 目 | 具体的数値項目 | ① | ② | 総合 | | | |
| III | 15 週に一日、長期休業中の一定期間の部活動休養日を設け、生徒の健康と学習の充実を図り、併せて教職員の健康に寄与する。 | ・適切に休養をとり、健康や学習に配慮し、健全に取り組んでいる生徒が80%以上である。 | B | B | B | ・学校行事等への取組が無理のないよう練習を計画し早めに提示することで、生徒が計画的に学習や生活ができるようにする。 | ・健康や学習に配慮し健全に取り組んでいる生徒が80%だが、残り20%の原因はどこにあるのか、検証をお願いしたい。 ・順調に達成されている。 | ・100%を目指すべく、練習の計画を保護者を含めた全員で共有し、学習や個人の活動との調整を図るようにする。 |
| | | ・学校保健委員会を年2回以上、安全衛生委員会を4回以上開催する。 | A | A | A | ・学校保健委員会ではスマホについて研究発表を行った。来年度は高崎市学校保健委員会の発表校なので、3年間研究してきたスマホ利用に関する成果をまとめて発表する予定である。 ・安全衛生委員会も予定通り実施できた。今後も継続する。 | ・良い。 ・「スマホ利用と健康・学習への影響」で実施された取組(川柳)は生徒目線でわかりやすい発信となっている。 | ・機会があれば成果の発表を外部にも公開する方策を検討する。 ・学校保健委員会の発表については、例年創立記念日の成果発表会で全校生徒に、また、来年度は高崎市学校保健委員会大会でも成果をまとめて発表する予定である。 ・安全衛生委員会での産業医のアドバイスも受け、職場環境の改善を図る予定である。 |
| | 16 本校の置かれた立場を生徒・教職員ともに理解し、仲間を思いやり、命を大切にする学校生活を構築する。 | ・校内を整理整頓し、安全で健康面に十分留意して生活できている生徒が80%以上である。 | A | A | A | ・校内の整理整頓や安全面についてはおおむね良好だが、今後は、駐輪場や登下校も含めて、ほかの分掌とも協力して、安全面の推進に努めたい。 | ・高女周辺の道路(歩道)の整備が全くできていない。特に自転車の通行はとても危険な箇所が多くある。周辺の小中高と連携を取り、早急に各自治体・区長会等と対策を検討すべき。登下校の問題は、高女に限らず地域すべての学校の問題です。 ・順調に達成されている。 | ・ゴミの分別の徹底をはかり、校内の整理整頓を推進していきたい。 ・地域や他の分掌との連携を図り、登下校も含めた学校生活全体の安全面を推進する対策を検討したい。 |
| | | ・年5回の「教育相談だより」を発行する。 | A | A | A | ・「教育相談だより」で、保護者や生徒が互いに尊重した学校生活を送れるように、学校行事や時期に合わせたアドバイスや、スクールカウンセラーからのメッセージを伝える。 | ・良い。 ・順調に実施されている。 | ・「相談だより」を見て、生徒のみならず保護者からも相談を受けることがあり、各家庭への支援ができていると実感している。今後も有効活用していきたい。 |
| | 17 登下校における交通規則の遵守と安全確認を心がけ、時間と心に余裕を持った行動・生活を確立する。 | ・年間の自転車事故件数が8件以内である。 | B | B | B | ・便りやホームルームで繰り返し交通ルール理解と遵守の徹底を図るとともに、加害の重大性理解もあわせて指導する。 | ・評価項目16と同様。 ・「安全運転をする車ばかりではない」という認識が甘い。時間に余裕をもたない登下校をする生徒が少なくない。 ・小中高が密集しているので特に注意してそれぞれの学校で連携して事故防止に取り組んでほしい。 ・例年より自転車事故の件数が減少している。 ・命あつての勉強です。 | ・毎年事故が多い。ほとんどが自動車側に原因があると思うが、個々の事件の原因究明を行い、事案ごとに全生徒へ注意喚起を行ってほしい。 ・事故原因について分析し、生徒が共有すべき課題を適切に提供するなど、意識を高める工夫をする。 |
| | | 18 学校施設の安全点検、環境整備に努め、事故のない安全な学校環境を整備する。 | ・各清掃担当者が場所別点検表を月1回提出する。 ・年2回防災避難訓練を実施し、防災意識を高める。 | A A | A A | A A | ・場所別点検表の活用を今後も継続する。 ・第2回防災避難訓練では、昨年度より職員による初期消火活動を実施している。来年度は出火場所を検討し、さらに実際の状況に近い訓練を計画・実施していきたいと考えている。 | ・点検を行っているのはとても良い。忘れがちだが、コンセントのトラッキングの確認をお願いします。 ・生徒玄関前の階段、コンクリートの点検をお願いしたい。 ・順調に実施されている。 |
| | | ・校内巡視を毎日、校外巡視を毎週実施する。 | A | A | A | ・公仕による日常の校内巡視は実施したが、校舎外巡視について、随時の実施となった。部活動施設を中心に定期的な校舎外巡視に取り組む。 | ・ブロック塀問題で、外部から容易に見えるようになってしまった。のぞき見や変質者への対応をお願いします。 ・順調に実施されている。 | ・引き続き日常点検のほか、防犯カメラの活用など、生徒の安全を保障する環境整備につとめる。 |

| 羅 針 盤 | | | 達 成 度 | | | 改 善 状 況 の ま と め | 学 校 関 係 者 評 価 | 次 年 度 の 課 題 |
|---|---|---|--------|--------|---------------------------------|---|---|---|
| 評 価 対 象 | 評 価 項 目 | 具体的数値項目 | ① | ② | 総合 | | | |
| IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。 | 19 個別の進路相談により、志を高く持たせてワランク上を目指す意識を醸成し、学力の伸長を図る。 | ・個別の進路相談などにより、自己の現状を認識し、通常の授業以外に土曜講座・課外補習・特訓講座等を受講することで、学力の向上に努めようとしている生徒が90%以上である。 | B | B | B | ・1年を通じて低学年、特に2年生で低い評価が出ている傾向は、変わらなかった。2年生の時期は、いわゆる中だるみが出るだけでなく、部活動に課題研究にかなり多忙であることも影響している可能性がある。3年間を見通した中で、より良い方策を探していきたい。 | ・1・2年生は3年生で成果を出すためのステップではないでしょうか。記述の通り、部活動や課題研究の土台があるから3年生での成果が出るのでは。3年間を見通した良い方法の確立を是非お願いします。 ・他校（私立）では保護者に向けに月1度くらい進路の情報などを共有する講演等があると聞いている。公立高校はその点で遅れをとっているのではないかな。 ・部活動や課題研究に全力で取り組む力は大切であり、十分達成できていると考える。 | ・進路相談を進める上で必要な様々な環境を整備したうえで、他の分掌や部活動などとも情報情報を共有しつつ、各学年の発達段階において最も効果的な課外や補講のあり方を確立していく。 |
| | 20「椎樹プラン」を活用し、キャリア教育を通して、早期に進路目標を明確化し、学習への動機付けを図る。 | ・自己の将来を考え、興味関心や得意分野などを職業と関連づけて進路目標を設定し、その実現に向かい努力している生徒が80%以上である。 | B | B | B | ・全体としては、目標にはわずかに届かなかったが、学年を追うごとに飛躍的に評価が高まっていることから、3年間を見据えたこの取組の結果が現れていると考えられる。今後もこの状況を維持しつつ、「椎樹プラン」を時代に合わせて改善していきたい。 | ・目標を考える機会を多方面で与えるのは良いことだと思う。 ・学年が上がるにつれてあてはまると答えた生徒の割合は高くなり、3年生では90%以上である。順調に達成されている。 | ・数値目標は3年生のみに設定し、学年が上がるにつれてあてはまると回答した生徒の割合が高くなることをもって評価して、今後の改善策につなげていく。 ・今後とも、時代に合わせたキャリア教育を進めていく。 |
| V 開かれた学校づくりに努めていますか。 | 21 学校公開・学校評議員会・学校評価アンケート等を活用し、地域や保護者の視点を生かし、地域に開かれ、より信頼される学校を目指す。 | ・保護者向けの「公開授業」を年5回程度実施する。 | B | A | A | ・予定通り年5回の公開授業を行うことができた。更に多くの保護者が参加できるよう検討していく。 | ・研究発表等の生徒が主体となっている授業が見られる機会を。 ・通常の授業なので仕方ないが、面白くないため保護者の興味関心は薄いのではないかな。 ・順調に実施されている。 | ・アクティブラーニングの授業を見学することができるような調整を工夫する。 |
| | | ・中学生向け学校説明会や施設見学会を開催するとともに、学校評議員会は年2回開催する。 | A | A | A | ・中学生向け説明会・施設見学会は予定通り実施できた。今後、更に充実したものとなるよう改善を図る。 | ・日程が調整できるかわかりませんが、授業風景を見学できる機会があればいいと思います。先生の教える体制と生徒の真剣（時には笑いも）さに高女を目指している中学生にはとても刺激になると思います。 ・順調に実施されている。 | ・更に高女の雰囲気を感じ取れるような説明会となるよう努める。 |
| | 22 学校説明会、中学校訪問等の広報活動に学校全体で計画的かつ積極的に取り組む。 | ・学校説明会の参加者が1100人(生徒)以上である。 | A | B | B | ・多くの中学生、その保護者に参加してもらうことができた。今後もより良いものとなるよう検討する。 | ・同上。 ・順調に実施されている。 | ・更に高女の雰囲気を感じ取れるような説明会となるよう努める。 |
| | 23 Webページ、学年通信、学校通信、各新聞社等を通して、本校の教育活動の特徴を積極的に公開、情報発信して、広く関係者の理解を深める活動に積極的に取り組む。 | ・学校行事終了後にWebページを随時更新する。 ・「高女通信」を定期的に発行する。 | B B | C B | C B | ・学校行事終了後速やかにWebページを更新すべきだが、徹底できなかった。 ・「高女通信」はさらに内容を充実させ、来年度は今年度以上に発行していきたい。 | ・Webは最新でない。 ・webページはあまり見やすすくない。 ・webページの使い勝手はあまり良くない（スマホページでは見たい項目を選んで1ステップでその項目の内容にたどりつけない。「高女通信」は順調に実施されている。 | ・webページの内容やレイアウトなどの改善を検討し、スマホ利用にも対応したwebページにする。 |
| 24 本校のよさを中学生のみならず小学生にも伝え、早期に本校への志望の確立を働きかけるための広報活動を積極的に進める。 | ・高女の良さを伝える「学校案内」を充実させ、高女の広報に役立たせる。 | B | B | B | ・「学校案内」を適宜配布し、概ね広報に役立たせることができた。 | ・小学生への働きかけはいささか疑問です。中高一貫校への対策でしょうか。漫画等を取り入れ、部活動・研究成果等を紹介する程度が良いのかと。 ・学区制の廃止だけでなく、中等教育学校の躍進の影響も受けている。小学生や小学生の保護者への働きかけに重点を置いた方がよいのではないかな。 ・順調に実施されている。 | ・学校案内は、中学生だけでなく小学生やその保護者にも配布することを意識した構成を検討する。 | |